

研修 評価

研修名	看護の将来ビジョンと医療政策				
領域	政策提言に向けた研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：1,100 円 非会員：2,090 円
対 象	看護管理者 レベルⅣ・Ⅴ 募集数(60人)応募数(37人)参加数(35人)会員数(31人)非会員数(4人)				
日 時	令和 5 年 9 月 16 日 (土曜日) 09:30~12:30				
ねらい (目標)	1. 2040 年に向けた保健・医療・福祉の課題を理解する 2. 2040 年に向けた看護の方向性を理解する				
講 師	勝又 浜子				
内容・方法	○講義 ・2040 年に向けた保健・医療・福祉の課題と政策・ビジョン達成に向けた日本看護協会の活動の方向性				
結果・評価 (受講者の意見 感想)	○評価方法：アンケート アンケート回収率：77% ○自己課題の達成度：96.3% ○受講者の満足度：100% ○受講者の理解度：100% アンケートでは、「我が国、地域の動向を踏まえた方針を理解し自身の施設の方向性や看護の役割を考える機会になった」「もっとたくさんの方が受講されたらよかったと思った」「政策とリンクしたとても良い研修だった」「理事から話を聞くことで政治から看護幹部の動きを知る機会となるため定期的に開催してほしい」という感想があった。また、研修内容について、「新潟県看護協会としては何か活動しているのか、県への働きかけ等の報告も同時にありとよい」「新潟県の医療体制や看護問題について落とし込み考えるための具体的な指標やヒントがあればもっと理解できると思う」という意見がみられた。				
企画の評価	○目標・内容 アンケートより整合性 100%から妥当であった。 ○プログラムの妥当性：研修評価達成から妥当であった。 ○事前準備・当日の運営など ・特記事項なし				
課題	・受付が 08:30 からで、協会の方に会場準備や受付などを支援していただいた。実際 08:30 から 08:50 の間は 5 名程度の受付で、ほとんどの受講者が 08:50 以降に受付されていたので、08:50 からの受付でもよかったのではないかと。				
担当者	教育委員				